

Ⅶ 中学部運営計画

1 学部目標

- (1) 自ら学び、自ら考え、自立に必要な態度・知識・技能の習得に努める生徒の育成を図る。
- (2) 相互の個性を尊重し、豊かな人間性・社会性を有する生徒の育成を図る。
- (3) 病気や障害による困難を理解しながら、自立心を培い、目標に向かって努力する生徒の育成を図る。

－ 目指す生徒像 －

- ・自分の進路について関心をもち、自ら学ぼうとする生徒
- ・生活に節度があり、自分の行動に責任をもつ生徒
- ・友情を重んじ、望ましい人間関係をつくる生徒
- ・自分の病気や障害を理解し、何事にもたくましく取り組む生徒

2 指導方針

- (1) 生徒一人一人の心身の状態や教育的ニーズ等を的確に把握し、個別の指導計画等に基づく効果的な指導法の工夫、改善に努め、基礎的・基本的な学力の定着を図る。
- (2) 小学部並びにこども病院・家庭・前籍校・各関係機関との連携を密にし、共通理解を図りながら、生徒の自立を目指した社会性の育成を図る。
- (3) 病気や障害による学習上又は生活上の困難を改善するため、自立活動の指導内容・方法の充実に努める。

3 本年度の重点

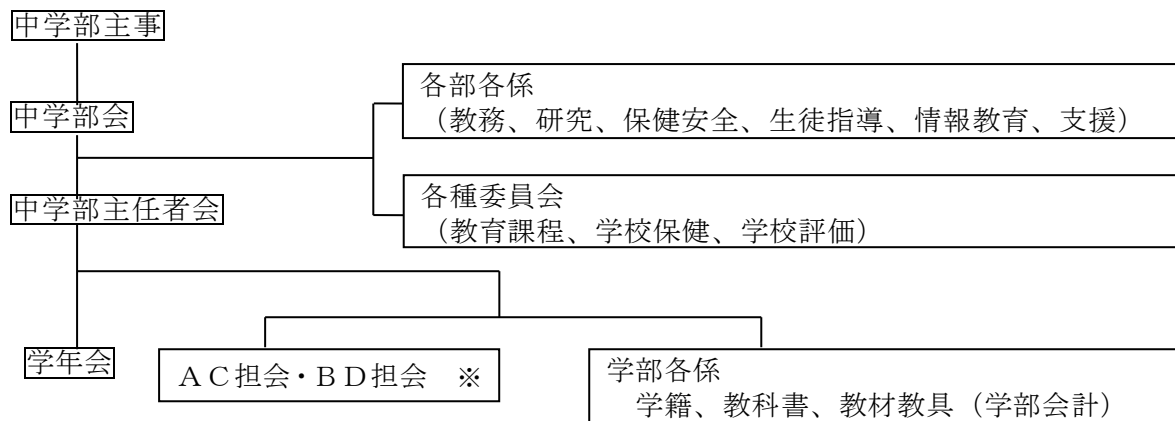
- ・複数教員による的確かつ迅速な実態把握と個別的教育支援計画、個別的教育計画の作成
- ・生徒の実態に応じた、指導体制の検討・整備と実践
- ・生徒の将来を見据えた系統的かつ個に応じた進路指導の充実
- ・円滑な移行支援を行うための、前籍校との連携の充実

4 指導内容および体制

- (1) 指導内容は次の四つの教育課程を編成する。
 - I 類型：中学校に準ずる教育課程
 - II 類型：下学年適用の教育課程
 - III 類型：知的障害特別支援学校の教育課程
 - IV 類型：自立活動を主とした教育課程
- (2) 学習指導においては、学級単位で行うことを原則とするが、生徒の実態や指導内容により、個別学習や学級・学年の枠を外したグループ別学習や合同学習も取り入れて指導に当たる。
- (3) 生徒の目標や課題に応じた効果的な指導を目指して、指導計画の作成や評価のための話し合いを定期的に行う。
- (4) 病状により、主治医から登校制限が出されている場合には、体調に配慮しながら病棟での授業を実施する。

5 中学部の組織および運営

生徒の学習・生活指導および学部運営に関する諸問題について検討し、学校運営機構の各部各係と連携を図りながら、効果的な教育活動を展開していく。



※1 AC担会：各学年主任＋単一障害学級担任（＋必要に応じて各教科担当者）

BD担会：各学年主任＋重複障害学級担任＋副担任（＋必要に応じて各教科担当者）

- (1) 学部会は、学部全体に関わる経営や指導計画・指導上の諸問題について協議・連絡をする。毎月1回を定例とするが、必要に応じて随時開く。
- (2) 学年主任者会は、学部会の協議事項を検討するとともに、学年間の情報交換や連絡・調整を図る。必要に応じて随時開く。
- (3) 学年会は、学年の経営や指導計画・指導上の諸問題について話し合うため、毎月1回を定例とするが、必要に応じて随時開く。
- (4) AC・BD担会は、AC・BD各学級の協議事項を検討するとともに、学級間の情報交換や連絡・調整を図る。必要に応じて随時開く。
- (5) ファイル・ミーティングは、個々の生徒の実態・発達の段階・特性・課題を的確に把握し、適切な指導内容・方法について話し合う。必要に応じて随時開く。

6 学年目標および指導方針

第1学年

(1) 目標

- ①学習の基礎・基本を身に付け、目標をもって計画的に学習する生徒
- ②自分について知り、意欲的に生活できる生徒
- ③生活のきまりを守り、自分で考えて仲間と共に行動する生徒

(2) 指導方針

- ①自主的・計画的な学習習慣を身に付ける態度を育てる。
- ②一人一人が活躍しながら、活発で明るい学級づくりを目指す。
- ③教師や友人とのふれあいを大切にし、互いに助け合う態度を育てる。

第2学年

(1) 目標

- ①学習の基礎・基本を基に、自ら学習課題を見付け計画的に取り組む生徒
- ②自分について知り、自分の言動に責任をもつ生徒
- ③生活にけじめをつけ、仲間と共に向上しようと努力する生徒

(2) 指導方針

- ①学習課題を自分で設定し、目標に向かって努力する態度を育てる。
- ②様々な活動を通して一人一人の主体性を育てる。
- ③団結力のある楽しい学校作りを通して、相互に協力し合う態度を育てる。

第3学年

(1) 目標

- ①目標をもって学び適切な進路選択のできる生徒
- ②自分について知り、困難を乗り越えていこうとする生徒
- ③自覚と責任をもち、仲間と共に伸びていこうとする生徒

(2) 指導方針

- ①自分の進路を真剣に考え、将来の目標達成のために自主的・計画的に学習する態度を育てる。
- ②自分に自信をもち、将来に向けてたくましく生きる力を育てる。
- ③最上級生としての自覚をもち、仲間との関わりを大切にする態度を育てる。

7 中学部行事一覧

行事名	期 日	ね ら い
修学旅行 [3学年AB組]	4月23(水)	- SDG sに対する企業の取り組みを取材して、自分なりの解決方法を模索し、学びを深める。 - 震災遺構を訪れて自然災害の威力や当時の人々の行動、復興の様子などを知り、防災についての意識を高める。 - 社会経験を拡充する。 【学校行事】
交流学习(オンライン) [B組]	5月21日(水) (船岡支援学校)	- 準備を含めた学習活動を通して、主体的に活動する意欲・態度を培う。 - 他校の生徒との交流を通して、他者と関わる力を高める。 【総合的な学習の時間】
進路学習 [2・3学年A組]	5月22日(木)	- 進路選択を見据えて上級学校に関する情報を収集し、進学への課題意識をもつ。 - 上級学校の見学を通して、中学との学習の違いや学校生活に対する理解を深め、自己課題の解決を図り進学への目的意識を高める。 【総合的な学習の時間】
進路学習(オンライン) [1・2学年AC組]	6月17日(火) (職業体験学習)	- 職業体験を通じて自分の将来について考える。 - 経験の拡大を図るとともに、広く進路や生き方についての意識を高める。 【総合的な学習の時間】
校外学習 [B組]	7月 8日(火) (体育的内容+買い物) または (自然or施設体験) ※生徒の実態による	- 体験や見学を通して様々な余暇活動に親しむ。 - 公共施設の利用の仕方やマナーを経験する。 【生活単元学習】
校外学習 [1学年A組]	9月26日(金) (天文台学習)	天文分野の基礎的知識を学び、天文への興味・関心を高める。 【理科】
進路学習 [B組]	11月 5日(水) (進路学習)	- 進路学習を通じて自分の将来について考える。 - 経験の拡大を図るとともに、広く進路や生き方についての意識を高める。 【総合的な学習の時間】
課題探究学習 発表会 [全学年]	月 日()	- 学部設定のテーマに関連した自分の課題を見付けて情報収集を行い、整理・分析を行ってまとめる。 - 自分の意見をまとめて分かりやすく発表したり、他の意見を聞いたりし、考え方を深める。 【総合的な学習の時間】

定期 考 査	1学期中間		1学期期末		2学期中間		学年末	
	6月9日(月) ～10日(火)		9月8日(月) ～9日(火)		11月10日(月) ～11日(火)		3年	1、2年
							2月2日(月) ～3日(火)	2月16日(月) ～17日(火)
実力考查		4月10日(木)中2・3	8月26日(火)全	9月24日(水)・10月28日(火)中3のみ			1月9日(金)全	
全国学力調査		4月17日(木) 中3AC全員						

学 部 集 会	1期	2期	3期
	3年担当 ※対面式4月15日(火) (3学年担当)	2年担当	1年担当 ※予餞会2月25日(水) (1、2学年担当)

8 道德教育全体計画

教育関係法規 教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・県教育方針 等	学校教育目標 病気や障害による困難の改善に取り組み、夢や希望に向かって心豊かにたくましく生きる児童生徒を育てる。 ○進んで学び、最後までやり抜く児童生徒 ○思いやりの心を持ち、助け合う児童生徒 ○健やかで、明るく生活する児童生徒	生徒及び地域の実態 ○親元や地元の友達から離れての入院生活。 ○生活指導におけるこども病院との協力。
社会的要請 *国際化・情報化・少子高齢化への対応。 *いじめ・不登校・問題行動等への対応。 *確かな学力の定着。 *共生社会の実現。	道徳教育の重点目標 ○自立心や自律性を高め、よりよく生きようとする心を育てる。 ○思いやりの心を持ち、自他の生命を尊重する態度を育てる。 ○集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努める態度を育てる。	保護者の願い ○安心して入院生活を送ってほしい。 ○新しい友達とも早く仲良くなっていってほしい。 ○学習に遅れが出ないようにしてほしい。
	道徳科の指導方針 ○道徳的価値に基づいた生き方について自覚を促し深められるよう支援し、様々な体験を通して、内面に根ざした道徳性を養う。	

1 学年の重点目標		2 学年の重点目標	3 学年の重点目標
○中学生の生活、学習の基礎・基本を身に付け、思いやりの心をもって集団の一員として自ら考え行動し、自己の責任を誠実に果たす態度を育てる。		○中堅学年として学校内の諸問題に目を向け、思いやりの心をもち、より豊かな学校生活を創る正しい判断力・実践力を育てる。	○最高学年として、より広い視野をもち、自他を尊重する心を育て、人生を切り開くための自己の確立と正しい判断力・実践力を育てる。
Ⅲ・Ⅳ 類型	○基本的生活習慣の確立を図り、生活年齢に相応した行動や人と関わる力を育む。 ○自立と社会参加への関心を高め、自己の課題に真摯に取り組む力や自己決定できる力を育む。		

各教科・領域・総合的な学習の時間・特別活動における関連			
【国語】社会生活における人との関わりの中での伝え合う力を高める。 【社会】グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な資質・能力の基礎を養う。 【数学】筋道を立てて考え、自ら問題を解決しようとする態度を養う。 【理科】生命を尊重し自然環境の保全に寄与する態度を養う。	【音楽】美しいものや崇高なものを尊重する態度を養う。 【美術】感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。 【保健体育】粘り強くやり遂げ、ルールを守って集団に参加し協力する態度を養う。 【技術・家庭】家庭や地域社会の一員としての自覚をもって、生活や社会をよりよくしようとする態度を育てる。	【外国語】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 【特別活動】自主的な活動を通して様々な課題を解決することにより、主体的に行動できる力を身に付ける。 【総合的な学習の時間】探究課題の解決を通して、主体的に判断し、粘り強く考え、他者と協調して生活しようとするなどの資質・能力を育てる。	【日常生活の指導】日常生活に必要な技能や態度を身に付け、自立への基礎を養う。 【生活単元学習】社会生活や伝統文化を体験する中で、時と場をわきまえて適切に対応したり相手を理解して思いやりたりする態度を養う。 【作業学習】活動を通して達成感を得たり、自分の役割を意識したりして、集団の一員である自覚を育てる。 【自立活動】学習上、生活上の困難を主体的に改善しようとする態度を養う。

家庭・子ども病院・地域との連携	学校環境の充実
○学校だより「拓桃わかば」 ○学年だより ○学級だより ○連絡帳 ○保健だより ○入所支援会議 ○カンファレンス ○進路懇談会 ○生活指導会議 ○高校見学 ○進路学習	道徳的実践の充実を促す学校環境の整備に努める。 ○生活環境：安全で清潔感のある落ち着いた環境。 ○言語環境：相手の気持ちを思いやる優しく正しい言葉遣い。 ○人的環境：互いを尊重し合い、学び合い、育ち合う豊かな環境。

9 学校安全計画(中学部)

				4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3		
安 全 学 校	教 育	科 学	理 科	・理科室の使用上の注意 ・実験時の危険防止とふさわしい服装	・薬品やガラス器具の使い方 ・加熱器具の使い方 ・備品の点検整備	・薬品の扱い方 ・カッター類の安全な使い方	・備品点検	・力学関係の実験器具の使い方			・備品点検 ・理科室と準備室の整備 ・天気とその変化(台風)(2年)	・大地の変化(火山活動と地震)(1年) ・自然災害と地域の関わりを学ぶ(2年)	・電気についての知識(2年)	・備品点検 ・薬品点検(台帳管理)		
			社 会	・関東大震災(3年)	・現代史(阪神大震災・中越地震・スマトラ沖地震)(3年)				阪神・淡路大震災(2年)		・東日本大震災(2年) ・ハリケーンから人々を守る(1年)			自然災害と防災への取組(1年)		
			美 術	・美術室の使用上の注意	・絵の具、用具の保管、管理の指導	・ニードル等の道具の使用の注意	・備品点検整備	・彫刻刀やカッターナイフの正しい使い方		・接着や塗装の際の一般的注意		・カッター、はさみ、コンパス等の使用上の注意		・道具点検整備 ・備品点検		
			保健体育 〔体育分野〕	・車椅子操作について ・集団行動と協力 ・備品の点検整備	・ダンスにおける安全な場所の使い方	・健康管理	・車椅子の点検整備	・ニュースポーツの用具、ルール、マナーについて	・ニュースポーツの用具、ルール、マナーについて	・ニュースポーツの用具、ルール、マナーについて	・備品点検	・ニュースポーツの用具、ルール、マナーについて	・バスケットボールのルールやマナーの徹底			
			保健体育 〔保健分野〕			・傷害の防止(2年)										
			技 術	・施設設備の使用上の注意	・切削加工時の安全 ・はんだ付けによる火傷の注意 ・備品の点検整備	・電気器具の取扱い ・電機製品製作上の安全配慮 ・備品点検	・加熱と漏電 ・電機製品製作上の安全配慮 ・備品点検	・工作機械や工具の安全や点検	・塗装時の換気と火気 ・電気の安全な利用	・金属材料の性質と切断 ・日常での木製品の利用	・暖房と換気について ・床に落ちているものの危険性	・工作機械の安全な利用 ・電子機器の利用と安全	・作業場所の確保と危険の回避 ・機具点検整備 ・備品点検(台帳管理)			
			家 庭	・家庭科室の使用上の注意	・ガスコンロの使い方 ・換気	・調理実習における注意 ・日常食の調理	・備品点検	・保育領域の一般的な注意	・備品の点検整備 ・食物領域の一般的な注意	・アイロン、ミシンの適切な使い方	・備品点検	・被服領域の注意	・食生活と健康 ・災害に備えて	・器具点検整備 ・備品点検(台帳管理)		
	全 学 校 教 育	教 科 ・ 領 域 を 含 め た 指 導	生 活 学 習			「車椅子安全講習会」 ・車椅子の運転のきまりや約束、安全な移動			防災の学習 ・校内マップ作り ・地震に備えて							
				「新年度の始まり(4月)」 「七夕飾りを作ろう(6月)」 ・はさみ、カッターナイフ、絵の具、接着剤等の安全な使い方												
				「調理実習(7・8月、11月、3月)」 ・ガスコンロなどの安全な使い方 ・包丁、ビラー、調理バサミなどの調理器具の安全な使い方や安全な調理方法を知る ・ミキサー、電子レンジ、ホットプレートなどの電気製品の安全な使い方 ・手洗い等衛生面の心掛け												
「育てよう・植物の世話・収穫をしよう」(4～10月) ・畝や移植ごて、鎌などの道具の安全な使い方 ・野菜や花を育てる上での安全な作業																
「暮らし方を学ぼう(5月、11月、2月)」 「大掃除をしよう(7月、12月、3月)」 ・店内での安全な行動 ・洗濯機やアイロンなどの安全な使い方 ・掃除機やほうき、ちりとりなどの安全な使い方																
「健康で安全に暮らそう(6月)」・梅雨時の心得 ・食品の安全 ・手洗いの習慣 ・災害時に身を守る行動 「健康に暮らそう(11月)」・風邪を引かないようにする習慣 ・風邪を引いたときの対応 ・インフルエンザ																
「校外学習に向けて(7月)」 「進路学習に向けて(11月)」 ・目的地までの交通安全 ・店内、館内での安全な行動																
安 全 学 校 教 育	級 指 導	第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	主な学校行事等	・中学生になって ・車椅子の安全な乗り方 ・通学時の確認 ・犯罪被害の防止や通報の仕方	・校外学習時の安全 ・災害時の安全な避難の仕方と日常の備え ・清掃方法を確認しよう	・校内での事故と安全な生活 ・水の事故と安全 ・登下校の安全	・落雷の危険や風水害 ・自分の健康チェック ・夏休みの生活設計と安全・防犯 ・校外学習時の安全	・地震による津波の危険と避難 ・下校指導	・交通法規の意義と安全 ・車椅子の正しい乗り方 ・校外学習での安全	・車椅子の安全な乗り方 ・交通事故の加害と被害 ・登下校の安全	・冬休みの生活設計と安全 ・火器の注意 ・災害への備えと協力(地域の一員として)	・自分の健康チェック ・地域の安全	・施設の安全な利用の仕方 ・降雪時の安全 ・けがの発生状況とその防止	・1年間の反省
						・車椅子の安全な乗り方 ・通学時の確認 ・犯罪被害の防止や通報の仕方	・校外学習時の安全 ・災害時の安全な避難の仕方と日常の備え	・校内での事故と安全な生活 ・水の事故と安全 ・登下校の安全	・落雷の危険や風水害 ・自分の健康チェック ・性犯罪と安全 ・夏休みの生活設計と安全・防犯 ・校外学習時の安全	・地震による津波の危険と避難 ・下校指導	・交通事故の原因と安全 ・車椅子の正しい乗り方 ・校外学習での安全	・車椅子の安全な乗り方 ・交通事故の加害と被害 ・登下校の安全	・冬休みの生活設計と安全 ・火器の注意 ・災害への備えと協力(地域の一員として)	・自分の健康チェック ・地域の安全	・施設の安全な利用の仕方 ・降雪時の安全 ・けがの発生状況とその防止	・1年間の反省
						・通学時の確認 ・犯罪被害の防止や通報の仕方 ・心の安定と安全 ・校外学習時の安全	・校外学習時の安全 ・災害時の安全な避難の仕方と日常の備え	・校内での事故と安全な生活 ・水の事故と安全 ・登下校の安全	・落雷の危険や風水害 ・自分の健康チェック ・夏休みの生活設計と安全・防犯 ・校外学習時の安全	・地震による津波の危険と避難 ・下校指導	・交通事故の原因と事故の特性(停止距離・内輪差等) ・車椅子の正しい乗り方 ・校外学習での安全	・交通事故の責任と補償 ・登下校の安全	・冬休みの生活設計と安全 ・火器の注意 ・災害への備えと協力(地域の一員として)	・自分の健康チェック ・地域の安全	・施設の安全な利用の仕方 ・降雪時の安全 ・けがの発生状況とその防止	・1年間の反省
						・始業式、入学式 ・健康診断 ・修学旅行	・防災訓練事前研修 ・校外学習スタート	・総合防災訓練		・防犯避難訓練	・火災避難訓練 ・終業式、始業式 ・校外学習	・学習発表会				・卒業式 ・修了式
		安全管理			・通学の安全確認	・学校設備の点検・整備 ・避難経路の確認	・学校環境の安全点検、整備	・夏季休業中の校舎内外の点検	・校舎や屋上など校舎外の整備	・避難経路の確認	・防災設備・用具の点検整備	・学校内の危険箇所の点検、整備	・防災用具の点検整備	・学校備品の安全確認	・1年間の安全点検の評価	

10 志教育全体計画（中学部）

生徒・学校の実態 ・全員がこども病院に入院中で、治療やリハビリテーションを受けながら学習に励んでいる。 ・教育課程は4つに分かれるが、学年や学部の枠を超えての交流活動を推進している。	学校教育目標 病気や障害による困難の改善に取り組み、夢や希望に向かって心豊かにたくましく生きる児童生徒を育てる。 <目指す児童生徒像> ○進んで学び、最後までやりぬく児童生徒 ○思いやりの心を持ち、助け合う児童生徒 ○健やかで、明るく生活する児童生徒	保護者の願い ・退院の日まで元気に頑張ってもらいたい。 ・楽しく学校生活を送ってもらいたい。 ・学力や生きる力が向上してほしい。
教師の願い 一人一人の子供が自己有用感をもって、輝いてほしい。	「志教育」の目標 一人一人の子供が自己や他者を大切に、夢や希望をもって、これからの時代を生き抜く力を育成する。	

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
・教師や友人との関わりや触れ合いを通して、相互の個性を尊重する心を養い、豊かな人間性・社会性を有する人間の育成を図る。 ・学年、学級の枠を超えて関わり合う環境の中から、人間関係の大切さを学ぶ。	・自らの障害を理解し、生活をよりよくするための方法を考え、実践する力を養う。 ・学校行事や校外学習などの体験学習・学習を通して、将来の職業と学習の関わりを理解する。 ・生徒一人一人に視点をおいた授業の実践を行う。 ・自分の趣味や特技を増やし、伸ばすことで、何事にも積極的に行動する生徒を育てる。	・一人一人の個性を生かし、仕事を全員で分担することで、役割についての意欲を喚起する。 ・学校での自分の役割を理解し、実践することで、集団の一員として責任を果たすことの大切さを自覚できるようになる。

各教育活動における取組の観点		各学年の取組内容	
各教科	・基礎・基本の定着を図る。 ・学習進度の調整を図る。 ・体験的、課題解決的学習に積極的に取り組む。	一学年	・個別の指導計画に基づいた学習指導。 ・生徒が自ら気づき、自発的に行う係活動や学習のための教育相談の充実。 ・行事や校外学習による体験学習の実施。 ・衛生面の配慮、掲示物の工夫等の教室環境の整備。 ・「情緒面の安定」「文章力の強化」「拓桃生活の記録」をねらいとした日記や作文の継続した取組。 ・趣味や特技の向上、ストレスの軽減を目指した日常生活の関わり。
道徳	・自立心や自律性を高め、よりよく生きようとする心を育てる。 ・思いやりの心を持ち、自他の生命を尊重する態度を育てる。 ・集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努める態度を育てる。	二学年	・自らの障害を理解し、生活をより快適にするための自立活動の充実。 ・行事や校外学習による体験学習の実施。 ・個別の指導計画に基づいた学習指導。 ・学級における係活動や当番活動の推進及び月ごとの委員会活動の実施。
学総習合の的時な間	・体験的な活動を行い、生活経験の拡大を図る。 ・問題の解決や探究活動に取り組むことを通して自己を理解し将来の生き方を考える。	三学年	・行事や校外学習による体験学習の実施。 ・卒業に向けてのA、B合同学活の取組。 ・高校入試に向けて放課後や長期休業中の学習相談の実施。 ・休憩時間を利用した余暇活動。 ・個別の指導計画に基づいた学習指導。 ・進路選択や受験に向けての合同学活等の取組。 ・学級における係活動や当番活動の推進及び月ごとの委員会活動の実施。
特別活動	・自主的な活動を通して様々な課題を解決し、集団の一員として協力的な態度を育成する。 ・学校や施設見学などの校外学習を通じた取組の中で、自らの進路について考える。		
自立活動	・自分の体を意識した自立活動の学習を通して、自分の障害のことや、将来の生き方について考える。		
家庭との連携		他校や企業等との連携	
・学校だより「拓桃わかば」 ・連絡帳 ・教育相談		・進路学習 ・高校見学	
・学年だより ・学級だより ・保護者懇談会			